

日本緑化工学会 緑化工セミナーのお知らせ

未来の緑化工セミナー

「3つのレベル+形態の生物多様性を目指した緑化」

講演者：香川大学 小宅由似先生

日時：2022年8月24日 19:00～（質疑含め30分程度を予定）

場所：Zoom (eco@meiji.ac.jp までお問い合わせください。申込み締め切り：8月21日)



緑化工学会では、学会員の取り組みや活動を学会内外に広く知っていただく試みとして、緑化工セミナーを開催します。今回は「未来の緑化工セミナー」として、香川大学の小宅先生にご登壇いただきます。若手の研究者に研究や技術の将来像を伺います。

実施に際しては、明治大学の倉本先生が主催する「自然を考え直す」連続講演会」と同日に同じ Zoom アドレスで開催します。「自然を考え直す」連続講演会は「ナラ枯れ」を題材に 17 時 15 分から、「未来の緑化工セミナー」は以下の要旨の内容で 19 時からの予定です。ぜひご参加ください。

<未来の緑化工セミナー講演要旨>

地上部の調査を通して確認可能な種組成や垂直構造といった「地上部の多様性」と、根系発達の分布やサイズなど「地下部の多様性」、更には斜面表層の安定との関係性について定量的に評価できないか考えたい。胸高直径と根系発達には関連性があるとされており、また樹種によって根系発達の様式が異なることも示されている一方、地上部や地下部の多様性が斜面表層の安定にどこまで寄与するかはわかっておらず、地下部の多様性のあり方、すなわち根系発達における土壌の競争あるいは共有の様子もわかっていないことが多い。地上部の多様性と斜面表層の安定との関係性を示すことができれば、目標植生や植生評価のあり方を検討する一助となるであろう。

